

油津の港物語 ~ チョロ船 ~

宮崎県・日南市



チョロ船は大正末期から昭和16年頃まで東洋一のマグロ基地として栄えた油津港において、昭和40年頃までマグロ、シイラ漁を主体に活躍した帆走木造船であり、全長約8m、幅約2.4mの構造で、船材として軽く弾力に富み、油分が多く水に強い地元特産の舄肥杉を使用しており、大小2本のマストを有する特徴を持つ。また、当時は早朝から出航していたため、船首部分にはたたみ一畳ほどの空間があり、横になって休めるようになっていた。

昭和40年以降は漁船の近代化により、エンジンを搭載したFRP船が主力となり、姿を消したが、平成13年4月に「チョロ船を復元する会」によって約50年ぶりに復元され、また同年11月には2隻目のチョロ船が「日南市産業活性化協議会」によって復元された。

2隻のチョロ船は堀川まつり・港まつり等のイベントの際や小学生の学習体験等に活用されており、漁村地域の活性化のために重要な役割を果たしている。

TOPICS

- ・油津港まつり 7月下旬開催
- ・堀川まつり 11月中旬開催
- ・特産品：焼酎、魚うどん

お問い合わせ先

油津チョロ船保存会

TEL / 0987-23-1515(川俣泰一商店内)

【交通】

徒歩 / JR油津駅から10分

